

平成29年度  
学校関係者評価委員会報告書

菜園調理師専門学校

学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、下記のとおり報告いたします。

## 記

## 1 日時および場所

日時 平成29年5月9日(火) 午後2時～5時10分

場所 学校法人コアトレース 2階会議室

## 2 出席者

	氏名	所属	選出区分
学校関係者評価委員	米田 勝彦	特別養護老人ホーム都南あけぼの荘 施設長	企業・業界団体
	伊藤 泰彦	盛岡大学附属高等学校 教諭	高校等関係者
	狩野 美紀雄	盛岡ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン盛岡 料理長	企業・業界団体
	藤原 留美	菜園調理師専門学校 卒業生	卒業生
	山崎 聡	盛岡社会福祉専門学校 同窓会輝咲 会会長 介護福祉科 卒業生	卒業生
学校関係者	久保 榮子	菜園調理師専門学校校長 盛岡社会福祉専門学校校長	
	谷地 康男	菜園調理師専門学校副校長 盛岡社会福祉専門学校副校長	
	小林 真巳	菜園調理師専門学校教務主任	
	中村 将洋	盛岡社会福祉専門学校教務主任	

## 3 議事次第

進行 副校長 谷地康男

- (1) 開会 副校長 谷地康男
- (2) 校内視察
- (3) 学校長挨拶、趣旨・規約説明 校長 久保榮子
- (4) 委員紹介
- (5) 委員長選出
- (6) 学校の概要説明 副校長 谷地康男
- (7) 自己点検・評価報告

- ① 菜園調理師専門学校 教務主任 小林真巳
- ② 盛岡社会福祉専門学校 教務主任 中村将洋
- (8) 質疑
- (9) その他
- (10) 閉会 副校長 谷地康男

#### 4 議事録

##### (1) 校長挨拶 (要旨)

- ① 少子化、大学全入時代において、学生募集も厳しい状況の中、教育の質を高め、魅力ある学校づくりを行うためにも委員の皆様より忌憚のない意見をいただきたい。
- ② 本委員会の目的を「学校関係者評価基本指針」の資料に基づき説明。
- ③ 職業実践専門課程の申請に必要な委員会であり、本会の審議内容ならびに委員の皆様の氏名、所属につきまして、ホームページ上で情報公開させていただきたい。

##### (2) 委員長選出

委員長に米田勝彦氏、副委員長に伊藤泰彦氏が推挙され、満場一致で承認された。

##### (3) 学校の概要説明

谷地副校長より学校の沿革、組織体制、創設の理念、教育理念について説明がなされた。

##### (4) 自己点検・評価報告、質疑応答

平成 28 自己点検・評価について、菜園調理師専門学校小林教務主任、盛岡社会福祉専門学校中村教務主任より資料に基づき報告があり、質疑に応答した。

###### ① 基準 2 学校運営について

- ・運営指針について、外部に示す際は広く解りやすいほうが良いと考える。図解化されたものがあれば、それをを用いることが望ましい。(山崎委員→調、介)  
⇒運営指針は図式化しており、教職員全員に配布し、意思の統一化を図っている。

###### ② 基準 3 教育活動について

- ・医療保険と介護保険の同時改正が行われるなど、法律も目まぐるしく変わる状況である。教育課程においては、このような情報を組み入れていただき、最新の知識を持って就職してほしい。(米田委員→介)  
⇒介護等法律の改正が行われる都度、担当講師と情報を共有し、最新の情報へ差し替えて教育をしている。
- ・事務系の採用では即戦力が求められる。施設でも接遇に関する研修のニーズが高いため、教育課程においても「接遇」について力を入れて教えてほしい。  
(米田委員→医、介)  
⇒演習やマナーはどの学科も力を入れて行っている。今後も演習等に力を入れてい

きたい。

- ・時代の潮流としてSNSの普及は目覚ましい。しかし、亡くなった利用者様の情報をLINEに載せる職員もいるなど、並行してコンプライアンス教育の必要性も感じている。学校としても十分に配慮するよう教育してほしい（米田委員→介）  
⇒個人情報の取り扱いについては、学校としても非常に大切なことと認識している。時代の潮流に合わせて、その重要性について再教育を行っていききたい。
- ・（基準7にも関連）自分のこれまでの経験として、「幼稚園」「老人施設」「和食」などいろいろな職種を経験してきたことが良かったと振り返る。様々な内容を幅広く勉強できることは将来にとってとても良いことなので、学校としてはそこを重視しアピールするべきではないか（藤原委員→調）  
⇒ご指摘のとおり、様々な調理方法を学べるということのメリットについてこれからも伝えていきたい。

### ③ 基準4 教育成果

- ・（基準7にも関連）自己評価にもあるとおり、就職に関しては「正社員として就職率100%」ということは素晴らしいことである。高校側にとっても入学希望者にとっても非常に印象が良いので広報としてもアピールしたほうがよい。（伊藤委員→医、介）  
⇒貴重な意見として、今後の広報活動に活かしていきたい。
- ・（基準5にも関連）同窓会があり、卒業生と学校が連携していることはとても良いことである。様々な場面で活用していくことが望ましい。（伊藤委員→調、介）  
⇒同窓会は学校としても非常に重要な組織と考えている。今後も連携を深めていきたい。

### ④ 基準5 生徒支援

- ・（基準7にも関連）MF高校では、3名が進学せずに福祉施設に就職した。施設の中には「初任者研修の費用を施設が立て替えて、2年働けば返さなくても良い」という施設や、「働けば返還義務が不要な奨学金を出す」という施設もあり、そこに魅かれて就職を選択する生徒がいる。専門学校でも、進学しても経済的に優遇された制度があることをもっと全面的にPRする必要があると考える。（伊藤委員→介）  
⇒奨学金については学校独自のものがある。また、その他にも介護福祉科への就学に際しては、学校を卒業後一定期間働くことによって借り受けた164万円を返さなくてもよい就学支援制度がある。県の介養協とも連携してパンフレットを作成し啓蒙に努めているところである。今後も種々の制度についてPRしていきたい。
- ・就職に関して、生徒と親との意見の乖離が見られるということは、高校の進路指導をしていても散見される悩ましい問題ではあるが、生徒の将来にとっての大切な選択となるので、十分に意見をすり合わせるができるよう指導をしてほしい（伊藤委員→介）  
⇒意見のすり合わせについては、毎年指導を強化している部分である。ご意見のとおり、今後も指導を強化継続して行きたい。

- ・各種団体のコンクールの出場することはとても意義のあることである。他人に評価をいただくことは生徒の自信にもつながる。結果が良くても、悪くても出場すること自体に意味があるので、学校としても推奨していくべきである。(狩野委員→調)  
⇒ご指摘のとおり、今後も推奨していきたい。
- ・(基準7にも関連) 学校をより理解してもらうため、コンクールの結果などを正面玄関に貼るなど、人目につくようなPRをしていくべきである(山崎委員→調、介)  
⇒コンクールの結果については、ポスター掲示やSNSで情報を発信しているが、なかなか周知に至らない。貴重なご意見として参考にさせていただきたい。

#### ⑤ 基準6 教育環境

- ・教育環境に際しては、菜園調理師専門学校のスチームコンベクションや介護福祉科の中間浴を加えた2台の特殊浴槽が設置されており大変感銘を受けた。即戦力を養成する専門学校として必要十分な素晴らしい教育環境である。(米田委員→調、介)  
⇒今後も生徒達にとってより良い教育環境となるよう整備していきたい。
- ・教育環境が整っていることは生徒たちにとっても大変良いことであると改めて感じた。(狩野委員→調)  
⇒上記に同じ
- ・卒業生である私自身が専門学校に入学したころよりも教育設備が整っている。勉強したい人が本気で勉強できる環境はとても大切な事なので高く評価したい(藤原委員→調、介)  
⇒上記におなじ

#### ⑥ 基準7 生徒募集と受入

- ・高校の進路指導をしている中で、多くの生徒や保護者が不安に思うことは、調理師は男性の職業として給与面等で安定しているのかという点である。その点についての情報はあまり取り上げられていない部分なので、広報媒体の中で明らかにする必要がある。(伊藤委員→調)  
⇒男性でも比較的安定した就職先ではないかと思われる。また、菜園調理師専門学校の卒業生は、盛岡市内のメインのホテルの料理人として長く務めているものが多く、評価されている。
- ・某高校では、某調理師専門学校への進学を希望する生徒が多い。進路指導の場面で生徒に対して「某調理師専門学校は学費が高い」と説明しても希望が変わらない。生徒の進路選択ではテレビコマーシャルよりも口コミの影響が強いと感じている。(伊藤委員→調)  
⇒進路指導の現場からの貴重ご意見に感謝したい。良い情報が口コミで伝わるよう、教育活動に務めてまいりたい。
- ・菜園調理師専門学校の特長は、他校と比較して学費が安いことである。この長所をアピールしていくことが広報の課題であると考えている。(伊藤委員→調)  
⇒ご意見を参考に、PR活動を進めていきたい。
- ・生徒に対する進路講演において、講演者の中には、学生募集の宣伝の中で「就職希

望者の就職率 100%という表現に惑わされるな」と説明する人もいる。生徒に伝える情報の中には、「就職を希望しない人」の具体的な情報もしっかりと表現すべきである。(伊藤委員→調、介)

⇒ご意見のとおり、「就職以外の理由」などを今後解りやすくし、誤解が生じない表現方法を検討していきたい。

- ・調理のコンクールで受賞するなど、対外的に評価を受けた生徒は、良い就職先に就職で繋がることのできるのか。繋がっているのであれば、そのあたりの情報はよい学生募集の材料となるのでアピールすべきである。(伊藤委員→調)  
⇒コンクールに出場する生徒は、向学心が強く、学校においても良い成績を残し就職にも繋がっている。ご指摘のとおりPRしていきたい。
- ・AO入試に関して、この制度を高校側としては良い制度と捉えていない。  
しかし、生徒から「早く出願すれば2万円安くなる。出願できない場合、その分は高校側が負担してくれるのか」と言われれば、認めざるを得ない。「ルールを守っている方が損をする」ことは良くないが、実際はAO入試で実際に入学する生徒がいることも視野に入試制度を創っていく必要がある。(伊藤委員→調、介)  
⇒AO入試については、高校側の評価を受けていないということで、取り組まないということではない。「青田刈り」ではなく入学希望者の「学習意欲」を評価できる入試制度となるよう今後学校としてもしっかりと考えていきたい。
- ・医療ビジネス学科が3コース制となり、生徒が自分の適性を見極め、将来の就職についての選択肢が広がることはいいことである。しかし、採用する側から見ると「(横浜の例を挙げ)うちは高卒を採用する」という企業もある。高卒とは違い専門学校に入るメリットを全面的に押し出していく必要がある。(伊藤委員→調、医)  
⇒ご指摘のとおり、資格を取得できる。就職に強いなど専門学校のメリットを打ち出していきたい。
- ・菜園調理師専門学校は他の専門学校と比較しメディアへの露出が少ないと感じている。「街中(まちなか)にある」「5コースを選択できる」など学校の利点をもっとメディアを使って宣伝してもいいのではないかと思う(狩野委員→調)  
⇒学校のPRについては、どのような方法を使って宣伝していくことが効果的なのかを見極めていくことが今後の課題と考えている。

#### ⑦ 基準8 財務

- ・経費の削減にあたって、最も手っ取り早く、重要なのは借り入れ利息をいかに減らすかということである。マイナス金利のこの時代は1%でも高いので、この手続きを重要視し行っていく必要がある。(米田委員→調、介)  
⇒貴重なご意見として、参考にさせていただきたい。

#### ⑧ 基準9 法令等の遵守

- ・菜園調理師専門学校と盛岡社会福祉専門学校を比較すると、相対的に盛岡社会福祉専門学校の自己評価の方が若干低いようである。評価の視点に相違があれば改善

した方がよい（狩野委員、山崎委員→調、介）

⇒盛岡社会福祉専門学校では、現在はできているが、今後さらなる検討の余地が残されているものには「5」ではなく「4」をつけている。今後さらによくなりたいという意欲の表れとして見てほしい。

#### ⑨ 基準10 社会貢献

- ・（基準7にも関連）介護者不足は現場でも深刻である。介護の魅力伝えるには、中高生ばかりではなく、小学生に対しても行っていく必要性を感じている。法人（施設側）も含めて体制づくりとともに他団体との連携が必要である。（米田委員→介）

⇒盛岡社会福祉専門学校は「もりしゃグレース」として福祉の魅力発信に関する社会貢献活動を行っている。その中で、中学生は授業の一環として毎年数校来ていただいているものの、小学生へのPRが不足しており、今後その必要性を感じている。ぜひ今後貴法人との連携も行っていきたい。

#### （5）閉会（要旨）

- ① 本委員会でもいただいたご意見を参考に、今後の参考に活かしていきたい。
- ② 今後、本委員会は年1回を予定しているが、必要に応じては増える場合もあるので、その時はご協力をいただきたい。
- ③ 学校を理解していただくためにも、文化祭など学校の行事の案内も差し上げるので、その際にはぜひお立ち寄りいただき、生徒達の姿をみていただきたい。

以上